

独自の構造で揺れを抑える

# TPRノブカワの防振パッド



防振パッド両面に直交した溝がついている為、過重の大小にかかわらず優れた防振、防音効果を発揮します。



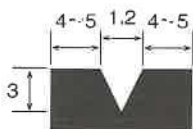
基礎工事などは一切不要で、機械の下に敷くだけでOKです。



戸建・大引ネダ下部



空調機・室外機下部



50ミリ間隔にV溝が入っているの、カッターで切るだけで使用可能です。



合成ゴム製品は耐久性に富み、長期使用が可能です。



## 寸法・規格

製品番号	寸法	材質	硬度	許容面圧	寸法図
SN 10	10t×300w×1,200L	SBR	60°	0.5N/mm <sup>2</sup>	<p>(裏面は表面と対角方向に溝があります)</p>
SN 15	15t×300w×1,200L	SBR	60°	0.4N/mm <sup>2</sup>	<p>(裏面は表面と対角方向に溝があります)</p>
SN 20	20t×300w×1,200L	SBR	60°	0.3N/mm <sup>2</sup>	<p>(裏面は表面と対角方向に溝があります)</p>

※カット加工のご注文も承っています。

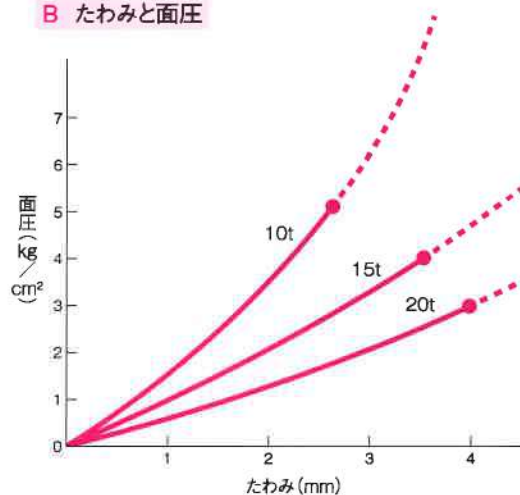
## 使用必要面積

- ① 防振の必要な対象物の重量と加振源の振動数を調べ、下表A(振動数とたわみ)より、振動数に対する必要な「たわみ量」を求めてください。
- ② 求めた「たわみ量」から、表B(たわみと面圧)により「面圧」を求めてください。

### A 振動数とたわみ(振動伝達率30%の場合)

加振源の振動数(cpm)	防振パッドのたわみ量
600	11.0mm以上
700	8.0mm以上
800	6.0mm以上
900	5.0mm以上
1000	4.0mm以上
1250	2.6mm以上
1500	1.8mm以上
1750	1.3mm以上
2000	1.0mm以上

### B たわみと面圧



$$\text{パッドの使用必要面積 (cm}^2\text{)} = \frac{\text{防振対象重量 (kg)}}{\text{面圧 (kg/cm}^2\text{)}}$$

※前記で求めた使用必要面積が防振対象物の土台または、脚部面積より小さくなるパッドを選定してください。

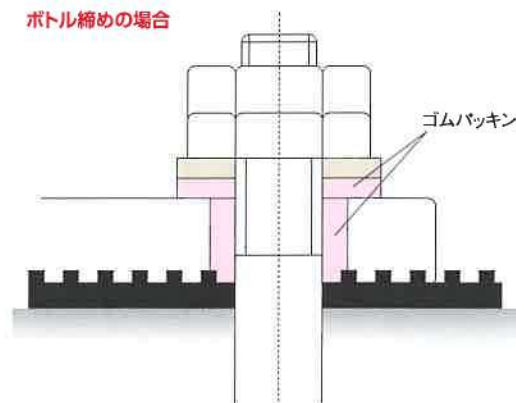
※表B(たわみと面圧)で、たわみ量が許容値を超える時は、防振パッドの溝方向を直角に交差させ、2枚以上重ねて使用してください。

## 防振パッド物性表

試験項目	単位	物性値
硬度 (TYPE A)	度	60±5
引張り強さ	MPa	5以上
伸び	%	400以上
〈老化試験〉 100°C × 24hr		
硬度 (TYPE A)	度	+3~+10
引張り強さ(変化率)	%	△20~30
伸び(変化率)	%	△30~50

## 取付例

ボトル締めの場合



※試験方法はJIS K6251に基づく ※物性値は代表値であり規格値ではありません。

## TPRノブカワ株式会社

本社 TEL.03-3258-5888

大阪営業所 TEL.06-6354-5335

E-mail : info@nobukawa.co.jp

ホームページ

http://www.nobukawa.co.jp

代理店